

# 理 科 S E L 授業構想シート（記入例）

※長期研修員が作成

題材名「植物の水の通り道」

〇〇立〇〇中学校

指導者 〇〇 〇〇

S E L コンピテンシー（育成を目指す非認知能力）

自己への気付き【自気】

正確な自己判断、自分のよさを発揮、自信をもつ

他者への気付き【他気】

人の意見から学ぶ姿勢、多様な意見を尊重、思いやり、気遣い

自己のコントロール【自コ】

忍耐力、目標達成に向け懸命に、諦めずに取り組む

対人関係【対人】

協力、チームワーク、注意し合える

責任ある意思決定【責任】

自分で課題を見いだす、予想や仮説を立てる、問題を解決する

時間	第 1 時	第 2 時	第 3 時	S E L コンピテンシーを発揮する姿
ねらい・学習活動	色水を吸わせた植物の葉と茎と根のつくりを観察することを通して、これまでに学習した葉のつくりをふまえて、根や茎にある維管束のつくりと関連付けて理解できるようにする。		学習してきた葉・茎・根のつくりと働きについて I C T を用いて総合的に図にまとめる活動を通して、植物が生きていくために必要なつくりと働きを理解し、表現することができるようにする。	「自己への気付き」 学んだことを基に、自分の考えを、タブレット端末を用いて表現している。 「他者への気付き」 グループ活動で班員や他の班の意見を参考に、自分の考えを広げている。
S E L コンピテンシー	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 グループでコミュニケーションを取り、計画を立て、観察を行っている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 前回の観察を基に計画を見直しながら観察を行っている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 根、茎、葉のつながりを意識して自分なりのまとめを行っている。	「自己のコントロール」 他者の意見を踏まえ、課題解決に向けて粘り強く取り組んでいる。 「対人関係」 班員と協力してグループ活動を行っている。
手立て	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・グループごとに2時間を通しての観察の計画を立てられるようにする。 ・ヒントシートを用意する。	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・グループごとに活動計画の見直しを行うよう促す。	学習形態 教材 その他 ・タブレット端末を用いて自分の考えをまとめる時間をとる。 ・タブレット端末を用いて考えを共有できるようにする。	「責任ある意思決定」 他者の意見を踏まえ、授業での学びを参考に、自分の考えをまとめている。

# 国語科 SEL授業構想シート

※研究協力校の教科担当が作成

題材名「盆土産」

〇〇立〇〇中学校 指導者 〇〇 〇〇

SELコンピテンシー（育成を目指す非認知能力）

自己への気付き【自気】

正確な自己判断、自分のよさを発揮、自信をもつ

他者への気付き【他気】

人の意見から学ぶ姿勢、多様な意見を尊重、思いやり、気遣い

自己のコントロール【自コ】

忍耐力、目標達成に向け懸命に、諦めずに取り組む

対人関係【対人】

協力、チームワーク、注意し合える

責任ある意思決定【責任】

自分で課題を見いだす、予想や仮説を立てる、問題を解決する

時間	第1時	第2時	第3時	SELコンピテンシーを発揮する姿
ねらい・学習活動	盆土産の範読を聞き、確認プリントで基本的な問題を解く活動を通して、物語「盆土産」の内容を理解できるようにする。	盆土産を読みながら、今までに学習した国語の要素について、自分の興味があるものを研究する活動を行うことで学習した内容を自分の力として生かすことができるようにする。	それぞれの研究内容について、発表し、交流する活動を行うことで様々な考えから自分の考えを深めることができるようにする。	「自己への気付き」 学んだことを基に自分の考えをタブレット端末を用いて表現している。 「他者への気付き」 まとめの場面では他者の研究内容から学び、自分の考えを広げている。 「自己のコントロール」 最後まで諦めずに研究をまとめている。 「対人関係」 グループで協力して研究を行っている。 「責任ある意思決定」 個人、若しくはグループで今まで学んだことを基に研究の手順を考えている。
SELコンピテンシー	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 諦めずに取り組み、読み直ししながら、問題を解いている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 自分で課題を見付け、周囲と協力しながら、研究している。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 自分たちの研究成果を堂々と発表し、交流し、考えを深めている。	
手立て	学習形態 教材 その他 ・簡単に内容を押さえ、繰り返し教科書を読むためのプリントを用意する。	学習形態 教材 その他 ・読み取りの視点を生徒に選択させ、同じ考えの者同士でグループをつくり、読み込み（研究）を行えるようにする。 ・タブレット端末（スライド）を使い、研究をまとめる。	学習形態 教材 その他 ・タブレット端末を用いてそれぞれの視点で読み取り、自分の考えをまとめる。 ・タブレット端末を用いて考えを共有できるようにする。	

# 社会科 SEL授業構想シート

※研究協力校の教科担当が作成

題材名「武家政権の展開と世界の動き」&「近代国家の歩みと国際社会」

〇〇立〇〇中学校 指導者 〇〇 〇〇

SELコンピテンシー（育成を目指す非認知能力）

自己への気付き【自気】

正確な自己判断、自分のよさを発揮、自信をもつ

他者への気付き【他気】

人の意見から学ぶ姿勢、多様な意見を尊重、思いやり、気遣い

自己のコントロール【自コ】

忍耐力、目標達成に向け懸命に、諦めずに取り組む

対人関係【対人】

協力、チームワーク、注意し合える

責任ある意思決定【責任】

自分で課題を見いだす、予想や仮説を立てる、問題を解決する

時間	第1時	第2時	第3時	SELコンピテンシーを発揮する姿
ねらい・学習活動	「なぜ江戸幕府は約260年間…」に続く単元のめあてについてグループで検討する活動を通して、自分たちの考えで課題を設定することができるようにする。	グループで決定した単元のめあての解決を行う活動を通して、江戸時代について様々な視点で考察することができるようにする。	各班の単元のめあてを踏まえ、自分自身の単元のゴールを設定し、その解決を行う活動を通して、自分なりの視点で江戸時代をとらえ表現することができる。	「自己への気付き」 学んだことを基に、自分の考えを、タブレット端末を用いて表している。 「他者への気付き」 グループ活動で班員や他の班の意見を参考に、自分の考えを広げている。 「自己のコントロール」 他者の意見を踏まえ、課題解決に向けて取り組んでいる。 「対人関係」 班員と協力してグループ活動を行っている。
SELコンピテンシー	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 グループで議論を交わし、単元のめあてについて考えている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 グループで決めた単元のめあてを班員と協力し、解決に向かっている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 周囲の考えを参考に、単元の目標に向けて、粘り強く取り組んでいる。	「責任ある意思決定」 他者の意見を踏まえ、授業での学びを参考に、自分の考えをまとめている。
手立て	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・既習事項を基にグループごとに単元のめあてを考えられるようにする。	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・江戸幕府の盛衰を表すグラフが示されたボードと出来事を書き込める付箋紙を用いて、協力して解決に向かいやすくする。	学習形態 教材 その他 ・他のグループ、他のクラスの意見を参照できるようにしておく。 ・様々な考えを基に最後は個人で自分の考えをまとめる。	

題材名「角と平行線」

〇〇立〇〇中学校 指導者 〇〇 〇〇

SELコンピテンシー（育成を目指す非認知能力）

自己への気付き【自気】  
正確な自己判断、自分のよさを発揮、自信をもつ

他者への気付き【他気】  
人の意見から学ぶ姿勢、多様な意見を尊重、思いやり、気遣い

自己のコントロール【自コ】  
忍耐力、目標達成に向け懸命に、諦めずに取り組む

対人関係【対人】  
協力、チームワーク、注意し合える

責任ある意思決定【責任】  
自分で課題を見いだす、予想や仮説を立てる、問題を解決する

時間	第1時			SELコンピテンシーを発揮する姿
ねらい・学習活動	限られた情報を基に対頂角の関係について調べる活動を通して、対頂角の性質を見だし、根拠を明らかにして説明することができるようにする。			「自己への気付き」 学んだことを基に自分の考えをホワイトボードにまとめている。  「他者への気付き」 グループ活動の場面では友達の考えから学び、自分の考えを広げている。  「自己のコントロール」 最後まで諦めずに対頂角の性質を理解しようとしている。  「対人関係」 グループで協力して話し合いを行っている。  「責任ある意思決定」 個人、若しくはグループで今まで学んだことを基に研究の手順を考えている。
SELコンピテンシー	自気 他気 自コ 対人 責任 <div>目指す生徒の姿 周囲と協力しながら、対頂角の性質を調べようとしている。</div>			
手立て	学習形態 教材 その他 ・対頂角の関係について、問題解決のための具体的なヒントを用意する。 ・学び合い活動のための図（ホワイトボード）を用意する。			

題材名「Unit3 In Case of Emergency」

〇〇立〇〇中学校

指導者 〇〇 〇〇

SELコンピテンシー（育成を目指す非認知能力）

自己への気付き【自気】

正確な自己判断、自分のよさを発揮、自信をもつ

他者への気付き【他気】

人の意見から学ぶ姿勢、多様な意見を尊重、思いやり、気遣い

自己のコントロール【自コ】

忍耐力、目標達成に向け懸命に、諦めずに取り組む

対人関係【対人】

協力、チームワーク、注意し合える

責任ある意思決定【責任】

自分で課題を見いだす、予想や仮説を立てる、問題を解決する

時間	第1時	第2時	第3時	SELコンピテンシーを発揮する姿
ねらい・学習活動	選択した災害について四つの文法事項（if～、because～、I think～、You should～）を使って文章を作成する活動を通して、新規文法を活用することができるようにする。	四つの文法事項ごとの防災パンフレットで利用できる表現を考えスライドにまとめる活動を通して、自分の考えを外国人に表現することができるようにする。	スライドで作成した防災パンフレットを用いて、交流する活動を通して、自らの考えをより深め、広げよりよい防災パンフレットとして表現できるようにする。	「自己への気付き」 学んだことを基に自分の考えを表現している。 「他者への気付き」 より伝わりやすいパンフレットを作成するため、他者の表現から自分の考えを広げている。 「自己のコントロール」 自分の担当を完成させるため粘り強く取り組んでいる。 「対人関係」 協力してパンフレットを作っている。 「責任ある意思決定」 分かりやすく見やすいパンフレット作成のため、周囲の意見を踏まえ、表現や図などを決定している。
SELコンピテンシー	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 グループでコミュニケーションを取り内容を考えている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 周囲の意見を参考に、自分の担当のスライドを仕上げている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 班で協力し、よりよいスライドの完成を目指している。	
手立て	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・防災パンフレットで取り上げる災害、掲載する内容はグループ内で相談して決定できるようにする。	学習形態 教材 その他 ・グループごとに活動の見直しを行うよう促す。 ・一人1ページを担当しグループで防災パンフレットの作成を行えるようにする。	学習形態 教材 その他 ・発表は一人一人が責任をもって行えるよう別の班編成をする。 ・意見共有アプリを使用し、お互いのよさを認め合う活動を取り入れる。	

# 理 科 S E L 授業構想シート

※研究協力校の教科担当が作成

題材名「消化と吸収」

〇〇立〇〇中学校 指導者 〇〇 〇〇

S E L コンピテンシー（育成を目指す非認知能力）

自己への気付き【自気】

正確な自己判断、自分のよさを発揮、自信をもつ

他者への気付き【他気】

人の意見から学ぶ姿勢、多様な意見を尊重、思いやり、気遣い

自己のコントロール【自コ】

忍耐力、目標達成に向け懸命に、諦めずに取り組む

対人関係【対人】

協力、チームワーク、注意し合える

責任ある意思決定【責任】

自分で課題を見いだす、予想や仮説を立てる、問題を解決する

時間	第 1 時	第 2 時	第 3 時	S E L コンピテンシーを発揮する姿
ねらい・学習活動	でんぷんに対するだ液の働きについて既習事項や対話的な活動を基に班ごとに仮説の検証実験を立案できるようにする。	立案した実験を行い、だ液（ジアスターゼ）の働きについて科学的に探究できるようにする。	実験の結果からその結果や考察を発表、共有する活動を通して、だ液（ジアスターゼ）の働きについて見いだすことができるようにする。	「自己への気付き」 既習事項を基に自分の考えをワークシートに表現している。 「他者への気付き」 考察の場面では他者の考えから学び、自分の考えを修正したり広げたりしている。
S E L コンピテンシー	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 グループでコミュニケーションを取り、実験の計画を立てている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 計画を基に協力して実験を行っている。	自気 他気 自コ 対人 責任 目指す生徒の姿 グループでそれぞれの考えを出し合い、思考を深めている。	「自己のコントロール」 実験計画を確認しながら課題の解決に向けて実験を行ったり考察したりしている。 「対人関係」 周囲の意見を聞きながら、協力して実験を行っている。
手立て	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・グループごとに仮説の検証計画を立てられるようにする	学習形態 教材 その他 ・グループ別の活動を設定する。 ・グループごとに役割分担をして協力しながら行うよう促す。	学習形態 教材 その他 ・ワークシートを用いて自分の考えをまとめる。 ・ワークシートとミニホワイトボードを用いて、結論を導き、共有できるようにする。	「責任ある意思決定」 実験の各手順の意味や仮説を周囲と共有しながら適切に実験を進めている。